

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語Vγ
科目基礎情報						
科目番号	0031		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質化学工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	自作プリントを適宜配布する					
担当教員	石水 明香					
到達目標						
1. 前期中間試験： まとまりのある英文を聴き取り、暗唱ができ、内容に関する質問に、口頭であれ筆記であれ、正確に答えることができる。 2. 前期末試験： 長めの英文を聴き取り、暗唱ができ、内容に関する質問に、口頭であれ筆記であれ、正確に答えることができる。 3. 後期中間試験： 英文エッセイを読み、英語での意見作文の構成を理解し、それを基にスピーチ原稿を仕上げ、英語で発表できる。 4. 学年末試験： 英語での要約力を身に付け、自らが作成した要約を基に、presentation原稿を仕上げ、発表することができる。同時に、presentationに関する質問に正確に答えることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程（本科1～5年）学習教育目標（3）						
教育方法等						
概要	英語を使って、特に口頭で意思疎通を図ることができるように、まずはlisteningを鍛えていく。単語ごとの聴き取りから、文単位、段落単位とまとまりのある英文を聴きとれるように学習していく。その後、暗唱を取り入れることで、まとまりのある英文を話せるようになり、ディスカッションやプレゼンテーションまで発展させていく。					
授業の進め方・方法	前半はdictation（聴き取り）とrecitation（暗唱）を中心に授業を進めていく。口頭表現するための英語を学習し、運用する言語活動を取り入れる。					
注意点	関連科目 英語I～IVまで 学習指針 話すためにはまず聞く力を養うこと。周囲と積極的に英語でコミュニケーションを図るためにもまずは他者の発話に耳を傾けることが重要である。 自己学習 到達目標を達成するために、授業に真面目に取り組み、授業以外でもテレビ、ラジオ、インターネットの英語ニュース番組等を通じて、継続的に英語実践力を磨くことを心がけること。					
学修単位の履修上の注意						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction		自己紹介が英語でできる。	
		2週	Listening		まとまりのある英文を聞き、理解できる。	
		3週	Dictation		まとまりのある英文を聴き取ることができる。	
		4週	Reproduction		聴き取った英文を正確に発音することができる。	
		5週	Recitation		まとまりのある英文を暗唱できる。	
		6週	Listening		長めの英文を聞き、理解できる。	
		7週	Mid-term quiz		長めの英文を聴き取ることができる。	
		8週	前期中間試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	2ndQ	9週	試験返却・解答・復習		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
		10週	Reproduction		聴き取った英文を正確に発音することができる。	
		11週	Recitation		長めの英文を暗唱できる。	
		12週	Listening, Dictation		長めの英文を聞き、理解し、聴き取ることができる。	
		13週	Reproduction		聴き取った英文を正確に発音することができる。	
		14週	Recitation		暗唱し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	
		15週	前期末試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる	
		16週	試験返却・解答・復習		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
後期	3rdQ	1週	Reading		英文エッセイを読み、構成を理解する。	
		2週	Discussion		英文エッセイに関する意見が英語で表現できる。	
		3週	Making a draft		スピーチ原稿の草稿を作成できる。	
		4週	Writing an essay		スピーチ原稿を作成できる。	
		5週	Revision		修正し、スピーチ原稿を仕上げることができる。	
		6週	Revision		修正し、スピーチ原稿を仕上げることができる。	
		7週	Mid-term speech		スピーチを発表できる。	
		8週	後期中間試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	

4thQ	9週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。
	10週	Reading	英文を読み、理解することができる。
	11週	Making a summary	英文の内容を要約することができる。
	12週	Presentation (1)	要約を基に、presentation原稿を作成できる。
	13週	Presentation (2)	原稿のrevisionができる。
	14週	Final presentation	英語で発表し、内容に関する質問に答えることができる。
	15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
	16週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
			英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
			英語の発音記号を見て、発音できる。	3	前3,前4,前5,前6,前7
			リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	前3,前4,前5,前6,前7
			語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	前4,前5,前6,前7
			文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	前4,前5,前6,前7
			文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	前4,前5,前6,前7
			中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
			自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
			中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前10,前11,前12,前13,前14
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前11,前12,前13,前14
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後10
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後11,後12,後13
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後13
			毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6
			毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	後3,後4,後5,後6
			自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	後4,後5,後6

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	0	0	0	20	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	0	40	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20